Next One!

となみ市議会だより

令和8年8月定例会

Contents

P2　特集
P4　代表・一般質問
P9　常任委員会報告
P11　賛否公開

2026
10.26
No. 46



砺波市議会について知ろう！

ついて知ろう！

決算特別委員会

市民の様々な要望を市政に反映させるため予算や条例などの議案をきめ細かく審議し決定します。

市のお金はどう使われた？



令和７年度決算を審査



令和８年８月定例会中に、令和７年度の一般会計や特別会計、公営企業会計の決算を審査する「決算特別委員会」が開催されました。

この特別委員会では、歳入歳出決算や基金の運用状況について、法令に適合して適正に執行されたか、また予算の執行や事業経営が経済的･効率的･有効的に行われたかを審査・検証するものです。

決算の概況

・一般・特別会計を合わせた決算額は、前年度に比べ歳入・歳出ともに増加。実質収支は 18 億 8,608 万円の黒字となった。
・市債残高は計画的な償還により減少を続けており、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は 91.4% とわずかに硬直化が改善された。

主な審査内容　総括質問

市長に聞いた！

Q　今後の財政運営について

A　物価高騰や相次ぐ自然災害など、予想を上回る苦難に見舞われた年度でしたが、砺波市役所の職員の高いアンテナと行動力、そして柔軟な事業見直しのおかげで、すべての財政指標をしっかりと守り抜くことができました。これから迎える庁舎整備と中学校の大きな統合事業を見据え、市民の皆様の理解も得ながら、一層スリムで弾力的な行財政運営に努めていきます。

Q　市立砺波総合病院の持続可能な医療体制について

A　砺波総合病院においては、構造的な診療報酬の課題や人口減少により、市として初めてキャッシュフローの面で大変厳しい状況に直面しました。しかし、こうした危機は決して病院のみで対応する問題ではありません。一般会計等からの支援や繋ぎ資金などの工夫を重ねながら、設置者として問題意識を深く共有し、国などへ制度改革の働きかけを行うなど、地域に不可欠な医療体制を次世代へとしっかりと引き継いでいくため、病院とともに全力で取り組んでいきます。

委員会質問

Q　水道の有収率対策と衛星画像解析の導入効果について

A　従来のブロックごとの調査では約４年かけて市内を巡回していましたが、衛星画像と AI 解析を活用してピンポイントで絞り込む手法を導入した結果、調査期間は約２年に短縮されました。

また、市内全体から一斉に絞り込むことが可能になり、音聴調査による発見件数も増加するなど、一定の導入効果が出ています。

Q　住宅取得や家賃支援について

A　令和７年度にリニューアルした住宅取得支援では、地球温暖化対策や空き家対策などの課題に対応するため、循環型住宅等を重点支援するようにしました。特に「ＧＸ加算」を設けたことで、ゼロカーボンに向けた取組みへの意識が高まり、環境に配慮した住宅が増える大きな効果につながっています。

また、ＧＸ加算に伴うオプション工事の増加により、市内業者が工事だけでなく資材調達も含めて多く関わっていることから、地域経済へも少なからず良い効果が出ていると感じています。

砺波市議会に

市議会報告会



開かれた議会を目指して「議会報告会」を開催しています。
詳しくはホームページをご覧ください。



市議会ホームページ



砺波市議会のホームページをご覧ください。

となみ市議会だより



4・7・10・1月の年4回発行しています。
砺波市議会のホームページから電子版(PDF版)やバックナンバーも見ることができます。

市議会傍聴



実際の本会議の様子をどなたでも傍聴席からご覧いただけます。

YouTube 録画放送

本会議の様子を録画放送(YouTube配信)しています。

ケーブルテレビでも録画配信されています。



8月定例会 代表・一般質問

8月31日・9月1日の両日、12人の議員が市政に対する代表・一般質問を行いました。

QRコードから、定例会の代表・一般質問の録画映像を見ることができます。



代表質問

こんどう ひさゆき
今藤 久之議員

新庁舎整備について

Q **現在市が運用しているネットワーク環境に加え、関連するICT付帯設備等の移設・整備計画について伺います。**

A 庁舎でのネットワーク環境を新たに構築した上で、現庁舎と新庁舎との間を回線で結び、テスト運用を行うなどして、段階的かつ業務影響を最小限に抑えながら確実な移設を行いたいと考えています。

また新庁舎におけるネットワーク環境の構築に伴って、来庁者の利便性向上と職員の業務の効率化が図られるよう、例えば、電話設備や電話端末、サイネージ(※)や窓口における番号発券機など、新たなICT付帯設備も整備したいと考えており、従来の業務を見直しつつ、新たなデジタル化整備も図ることを目指していきます。

なお、確実に業務を遂行する必要があることから、ネットワーク事業者からのプロポーザルによる提案発注も視野に入れたいと考えています。

※サイネージ…情報や広告を表示する掲示物のこと。近年は、液晶画面などで映像を出すデジタルサイネージの意味で使われることが多い。

公の施設の使用料及び利用料金の見直しについて

Q **値上げによる「市民活動や健康維持活動の停滞」や「利用率低下」を防ぐための対応について伺います。**

A 議員のご指摘のように、料金の見直しにより、利用率の低下や、それに伴う健康維持活動・コミュニティ活動の停滞など懸念がないわけではありません。

対案として、例えば、コミュニティ活動の拠点施設である「多世代交流施設」には定期利用券を導入するとともに、利用券を4施設のどこにでも使用可能にするなど、経済性と利便性を有した取扱いの導入や、施設をまるまる一棟貸す料金の導入、また、常料金を設定するなど、利用する方にとって利用しやすい視点にたった見直しもあわせて行ったところです。

また、激変緩和措置の導入により、見直し後の使用料等を原則1.5倍を上限に設定していることや、今後の施設維持経費の動向もありますので、今後、使用料等は、原則、5年程度で見直しを行っていく方針です。



砺波東部小学校体育館



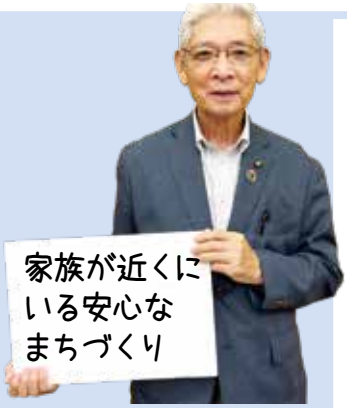
代表・一般質問とは

議員が市のあらゆる施策について問いただし、自由な意見を述べ、市の公式の見解を求める機会です。代表質問は、会派を代表して質問を行います。

※定例会での代表・一般質問の録画映像を、インターネット配信しています。議員氏名の下の各QRコードからも、質問の映像を見ることができます。

砺波市議会　検索

8月定例会　一般質問



はら だ　さだのり
原田 定範議員

三世代同居･近居支援施策の評価と今後の展開について

Q　**市が進めてきた三世代の同居・近居を支える取組みについて、これまでの成果や暮らしへの効果をどう捉えているかお尋ねし、あわせて子育て支援や定住の促進に向けて、今後どのように取組みを続けていくのか伺います。**

A　三世代同居・近居支援施策については、本市独自の人口減少対策として全国に先駆けてスタートし、子育てや高齢者へのサポート、住宅の新増改築などの各分野に普及しています。市内に住み続けていただく面で、確かな成果が出ていると捉えています。多様化するライフスタイルに合わせてより使いやすい制度へ見直しながら、今後も力を入れていきます。

質問の趣旨　お互いに助け合える三世代の同居や近居は、子育ての負担軽減や地域での見守りにとても役立ちます。これまでの取組みの成果をしっかり振り返り、これからも安心して暮らせるまちづくりを進めていく姿勢を確かめたく質問しました。



こうしま　としあき
神島 利明議員

主要避難所への防災井戸の設置について

Q　**本市が指定する避難所において断水が発生した場合、生活用水を確保するため、防災井戸を設置する必要性について伺います。**

質問の趣旨
防災井戸は、災害により水道が使用できなくなった場合においても、一定の条件のもとで生活用水を確保することができる有効な手段の一つであると考え質問しました。

A　指定避難所における防災井戸の整備は、災害時における水の確保手段として、大変有効であり、その必要性を十分認識しています。

地区の活動拠点となり、市との連絡や物資支援の拠点となる「主要避難所」に「防災井戸」の整備を他市に先駆けて計画的に進めており、これまでに、「出町小学校」、「砺波東部小学校」の２施設に、今年度は、新たに「砺波北部小学校」、「庄川生涯学習センター」の２施設に整備します。

今後も、「主要避難所」を優先して順次整備を進めていきたいと考えています。



に　き　りょういち
仁木 良市議員

児童生徒の通学環境の充実について

Q　**通学環境の充実は、保護者の時間的、経済的な負担の軽減にもつながることから、中学校再編に併せて、既存の小・中学校も含め市内全体の通学環境の在り方に目を向けることについて見解を伺います。**

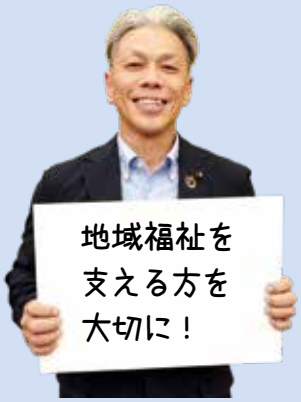
A　既存の小学校区におけるスクールバスの利用基準について、一部柔軟な運用を望む声があることは承知していますが、市内全体の通学環境の在り方については、令和５年２月に「砺波市立学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」を定めたところであり、当面の間、この考え方に沿って運用していきたいと考えています。

Q　**スクールバスをより柔軟に活用していくことについて見解を伺います。**

A　既に砺波チューリップフェアでのシャトルバス、校外学習やスキー学習など登下校に支障のない時間帯で有効活用しています。

一方で、スクールバスは児童生徒の安全な登下校の確保が最大の目的であることから、柔軟な活用の可能性について関係課とも連携を図りながら引き続き検討していきたいと考えています。

質問の趣旨
子どもの通学に伴う家族の送迎負担軽減が必要と考え質問しました。



はら の まこと
原野 誠議員

地域福祉を支える人を大切にする地域づくりについて

Q **地域福祉を支える方々が安心して活動を続けられることは、地域福祉全体の持続につながります。第４次地域福祉計画の５年間で、どのような環境を目指し、その実現に向けて取り組んでいくのか伺います。**

A 地域福祉を支える方々が、「支える側」でありながら、地域全体から「支えられている」と実感できる環境を目指します。そのため、地区福祉推進協議会、市社会福祉協議会、市が連携し、いつでも相談できる体制を整え、個人の善意や負担だけに頼らない持続可能な活動基盤を築いていきます。

また、福祉サポーター等の育成や「見守り」「支え合い」のネットワークを推進し、誰もが安心して活動できる包括的支援体制の充実に取り組みます。

質問の趣旨　地域福祉を支えている方々を大切にし、安心して活動を続けられる環境を整えることが、地域福祉全体の持続につながるとの考えから質問しました。



しま だ みつる
嶋田 充議員

これからの砺波をつくる「未来の学校」について

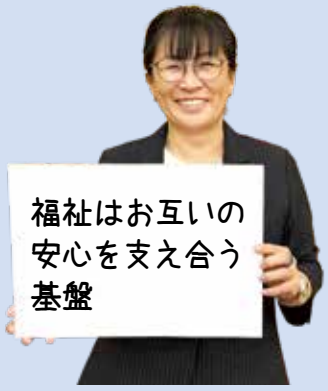
Q **新設中学校に該当する地域の保護者アンケートで約６割が通学の安全を最も重視しています。送迎などの切実な不安に寄り添い、じっくり話し合える公式な場を設けるべきと考え、見解を伺います。**

A 「通学の安心」の確保は重要と認識しており、学校づくりの基本コンセプトに反映していきたいと考えています。新年度の基本設計策定に合わせ、ワークショップを通学送迎の安全対策などもテーマの一つとして開催していきたいと考えています。

Q **子どもたちは地域とつながり、自ら課題を解決する「探究学習」を望んでいます。こうした特色ある学びについて語り合う場が必要と考え、見解を伺います。**

A 生徒から提案のあった自習室に加え、「特色ある学びを考える場」については「みらいトーク」のような形で開催し、学校の設計に生かしていきたいと考えています。

質問の趣旨　学校再編を単なる施設整備で終わらせず、最も身近な課題である「通学の安心」と、地域とつながり自ら学ぶ「探究学習の充実」に向け、市民が継続して話し合える公式な対話の場を確保すべきと考え質問しました。



さかい さよこ
境 佐余子議員

次期障がい者福祉計画の策定について

Q **実施されたアンケート結果の自由記述に表れた個別の声を、どのように計画策定に活かしますか。**

A 相談支援、障害福祉サービス、就労、医療的ケアなど、テーマごとに分類し、件数の多寡だけで判断せずに、内容の緊急度などについても重視していきます。また、選択回答では把握しにくい、制度やサービスの狭間にあるニーズや、制度上の課題や支援の届きにくいところも見極め、選択回答の集計結果と自由記述の分析結果とともに、本市の障がい者福祉におけるニーズや優先施策を整理し、次期計画に反映していきます。

Q **自己決定の尊重、地域生活の継続及び社会参加の実現という観点から、次期計画ではその成果をどのように評価し、見直しへつなげますか。**

A 今回の検証結果も基に、相談支援や関係機関との連携の中で把握した課題等を踏まえ、計画の推進状況を確認し、課題が見られる分野では、その都度ケース会議等から支援内容や連携のあり方などについて見直し、計画の実効性を高めていきます。

質問の趣旨
障がいを持つ当事者やご家族の声を丁寧に捉えて、本市の実態に即した具体的で実効性のある計画を策定していただきたいと考え質問しました。

8月定例会　一般質問



よねやま　まさ　き
米山 勝規議員

高齢者の介護予防・自立支援の推進について

Q **本市が自立支援・重度化防止に向けて取り組んできた成果をどう捉えているでしょうか。また、現行計画の指標が活動量に偏る中、富山大学が本市データを用い、通いの場への継続参加により要介護認定リスクが約４分の１に低下すると発表した研究成果を参考に、第10期高齢者保健福祉計画の評価指標として活用していく考えはないでしょうか。**

A 「いきいき百歳体操」においては多くの方が集い、また、庄川健康プラザの利用者数も目標値を上回りました。結果として本市の介護認定率は県内他市と比べ低い傾向にあります。また、富山大学の研究成果を踏まえ、第10期計画では「週１回程度・年間30回以上」といった新たなアウトカム指標(※)を盛り込むことを、策定委員会に提案していきたいと考えています。

質問の趣旨　本市の介護予防事業は成果を上げていますが、それを測る指標が活動量に偏り、効果そのものを測る数値が計画に組み込まれていない点を問題視し、令和９年度からの第10期計画へ具体的な数値の目安まで示して質問しました。

※アウトカム指標…施策や事業を実施した結果として得られた最終的な成果や効果（アウトカム）を測定するための指標



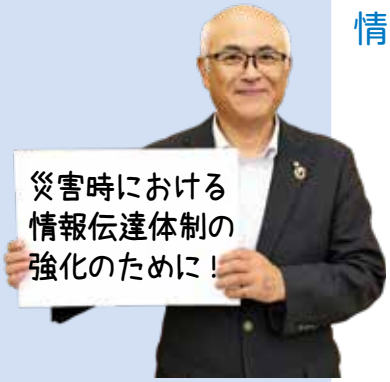
はやし　のり　こ
林 教子議員

砺波工業高校における新学科構想や一括募集に対する受け止め方について

Q **令和９年度から始まる一括募集と新学科構想について、土木・建築分野の学びの確保や、地域の人材育成の観点から市がどのように受け止めているかを伺います。**

A 県のワークショップに参加し、生徒が主体的に学びを選択できる仕組みや、入学後に適性を見極め進路を選べる「一括募集」について提案を行いました。新設される地域デザイン学科には「都市デザインコース（仮称）」が設けられ、道路や河川等の社会基盤の維持や建築物について学べると伺っています。発表された砺波工業高校における「一括募集」の導入については、「希望学科への定員の偏りが生じないか」といった課題もあるが、生徒や保護者のキャリア選択の幅を広げるものとして大変意義深く、高く評価しています。

質問の趣旨　新設学科で防災・まちづくりの技術者育成が担保されるか、一括募集の導入をどう評価するかについて、市の考えを伺いました。



むかい　みきお
向井 幹雄議員

情報伝達体制の再構築・強化と今後の具体的な取組みについて

Q **避難情報は発令のタイミングのみならず、「いかに早く、確実に一人ひとりの市民へ届くか」が極めて重要です。**
緊急速報メールや公式SNS、ホームページサーバーの強靭化、さらにはエリアメールや地域コミュニティとの連携を含め、デジタルとアナログ双方による確実な情報伝達体制をどのように再構築・強化していきますか。

A 災害時又は、災害が発生する恐れがある場合における情報伝達は大変重要であり、複数の情報ツールにより、重層的に適切かつ迅速な情報伝達に努めていきます。
今後も、これらのツールを適切に活用するとともに、システム障害が起こらないよう今回の事象も踏まえて万全を期していきたいと考えています。
また、一部の地域で導入されている「結ネット」の更なる導入促進を図るなど、地域コミュニティを活用した、より効果的な情報伝達に向けた取組みも進めていきます。

質問の趣旨
災害時において市民の生命を守るには、行政による的確な「避難情報の発令」と「確実な情報伝達」が必要であると考え質問しました。



こにし　とよかず
小西 十四一議員

砺波市の農業施策について

Q 畦畔として十分に機能していない箇所を再構築する施策は、単に農地を大型化するだけではなく、それぞれの地域の実情に応じて農地を整備するものとして重要だと考えます。農業者にどのように周知し、地域の実情に応じた施策の展開につなげていくのか伺います。

A 国では近年の集中豪雨等による災害リスクを低減させる「たんぼダム」機能も備えた大規模な再構築支援事業を、また県では比較的軽微な破損等の機能回復事業が、本市の費用負担なども含めて補助メニュー化されておりますが、それぞれの事業は農業者も一定の費用負担が伴うことから、この点を含めた説明が必要です。「広報となみ」や「市ホームページ」のほか、「多面的機能支払交付金事業」の説明会など様々な機会を通じて事業の周知を図るとともに、ご相談等があった場合には、引き続き、国や県などの関係機関とも連携しながら対応していきます。

質問の趣旨　第３次砺波市総合計画策定にあたり、１０年後もいきいきと農業に取り組むために必要な国による新しい施策について質問しました。



さかい　きんご
境 欣吾議員

トイレカーの導入を！

Q 避難所では、トイレの問題が重要です。全国で使用されているトイレカーの標準モデルでは、３～４の個室と車いす用の１室を備え、停電時もＬＥＤ照明や換気扇、冷暖房が稼働します。温水洗浄便座を装備し快適であることから、平時はイベントにも利用でき、市民への貸出事業も行えます。2,500万円前後と高額ですが、他自治体と提携すれば、災害時に多数台を配備することも可能であり、見解を伺います。



A トイレカー、トイレトレーラーは複数人が同時に利用でき、プライバシーが確保され、長期の使用でも衛生状態が維持されることからニーズが高く、有効に活用されていると、今回熊本に派遣した職員から報告があり改めて認識しました。しかし、自治体負担や、平時の維持管理・運用の課題もあります。導入済み自治体への聞き取り、所有する民間との協定の可能性など調査・研究していきたいと考えています。

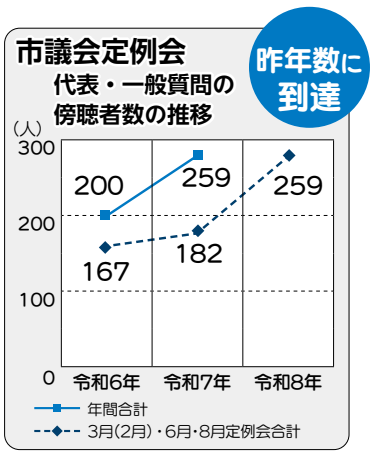
質問の趣旨　二次健康被害、関連死を防ぐためにぜひ備えるべきものと思い、質問しました。

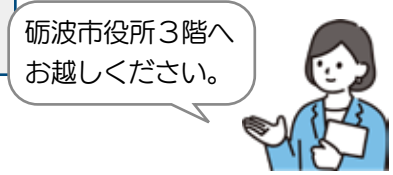
傍聴してみませんか

令和８年11月定例会カレンダー(予定)

日	月	火	水	木	金	土
29	30　10:00 本会議	12/1	2	3	4	5
6	7　10:00 本会議	8　10:00 本会議	9　10:00 文教民生病院常任委員会	10　10:00 総務産業建設常任委員会	11	12
13	14　14:00 本会議					

傍聴手順
❶会場出入口付近にある受付票に、住所・氏名をご記入ください。
❷傍聴席へご入場ください。(傍聴は出入り自由です。)





常任委員会報告
主な審議結果

文 教民生病院常任委員会 9月2日

原案可決

議案第68号　砺波市立学校施設の使用料に関する条例の制定について

学校体育館使用の有料化と子どもたちの活動への配慮



【市の提案理由】

受益者負担の公平性と適正化を図ること及び将来にわたって持続可能で安定した行政サービスの提供を実現するため、新たに学校施設の利用に係る使用料を設定する。

【委員会の審議内容】

地域体育館等の他施設との公平性確保や、維持管理費への受益者負担の観点から、これまで無料であった学校体育館に公の施設と同様の料金基準を定めるものである。子どもたちのスポーツ活動（スポーツ少年団や小中学校の部活動等）に対しては、過度な経済的負担が生じないよう、十分に配慮する。なお、学校グラウンドについては、体育館のような特別な維持管理費がかからない点や、子どもたちが日常的に利用する公的な遊び場としての性格を考慮し、使用料徴収の対象外とする。なお、委員からは、減免基準の設定にあたり子どものスポーツ公益性や重要性に配慮するよう意見が出された。

原案可決

議案第72号 砺波市斎場条例の一部改正について

動物火葬料金の改定と効率的な運用への見直し

【市の提案理由】

老朽化した火葬炉の更新に伴い、大型有害鳥獣の処分増加や燃料費・人件費の高騰に対応するため、動物の火葬料金を現行の市内の方は 7,330 円から 14,000 円に改定する。（市外の方は 4 倍の料金）

【委員会の審議内容】

改定料金は、中型犬を想定した実績経費（燃料費・人件費等）を基に算定している。なお、極めて公共性が高く、尊厳への配慮が必要な人の火葬料金は据え置く。これまでペット火葬で実施していた「収骨（個別火葬）」は、炉の負荷が大きいため廃止し、今後は民間事業者の利用を促す。公営斎場では有害鳥獣やペットを合同火葬し、効率的な焼却と炉の長寿命化につなげる取組みを行う。新設する火葬炉は、大型有害鳥獣の処分に対応するため、人体用と同仕様の「台車式密閉型セラミックス炉」を整備し、来年 1 月までの工事期間中は動物の火葬を一時休止する。なお、委員からは、料金改定や収骨の取扱い変更等について、市民への十分な周知と丁寧な案内に努めるよう要望が出された。



7/27 「地域脱炭素推進事業」についての勉強会

国の未来創生交付金に採択された「地域脱炭素推進事業」について、市民生活課から説明を受けました。人材育成と脱炭素化を両立し、地域企業の経営力強化や若者の地元定着、関係人口の創出につなげるとともに、地元事業者の CO_2 排出量削減を通じ、地域経済の活性化と脱炭素の同時実現に向け、委員から活発な意見が出されました。

原案可決

議案第67号　令和８年度砺波市一般会計補正予算（第４号）所管部分

地域農業構造転換支援事業費補助金　5,484千円



【市の提案理由】

地域農業の維持・発展に向け、農地の集積を担う中核的な農業者の経営改善や規模拡大に必要な農業用機械の導入を支援する。

【委員会の審議内容】

地域農業の担い手による高性能コンバインの導入を支援する。新たな担い手の就農を背景に、水稲作付面積を 18ha から 22ha へ拡大する計画が示された。引き続き地域農業を支える担い手の育成と農業振興につながる支援を要望した。

原案可決

議案第69号　使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（所管部分）

公共施設の使用料金等の見直し

【市の提案理由】

公共施設使用料について、受益者負担の適正化や施設運営の持続可能性を図るとともに、施設を利用する人と利用しない人との公平性を確保するために、関係条例を整備する。



【委員会の審議内容】

料金改定の検討過程における透明性や公平性、市民活動への影響、子どもの文化活動への支援について質疑が行われた。議会や関係団体への事前説明を行ってきたことや、利用者サービスの向上と併せて利用促進を図ること、子どもの活動には別の形で支援策を検討することが示された。また、改定後も利用状況等を検証し、必要に応じて柔軟に見直す方針が示された。

米の安定供給と持続可能な米生産の実現を求める意見書を提出しました

米価の変動や生産資材価格の高騰、農業従事者の高齢化・減少など、米生産を取り巻く環境が厳しさを増していることを踏まえ、米農家が将来にわたり安心して生産を継続できる環境整備や、食料安全保障の観点からの政府備蓄米の適切な確保、米の需要拡大などを求める意見書を国へ提出しました。

7/17 砺波市建設業協会との意見交換会

物価高騰による建設資材の高止まりや資材調達の困難化について意見や要望を伺いました。また、除雪業務に係る維持管理費の確保や今後の除雪体制の維持、人材確保についても意見交換を行いました。

賛否公開

議案等に対する議員の賛成・反対一覧です。

詳しい議案内容はこちら▶

砺波市議会　議案等の審議結果（議員賛否一覧）

令和８年８月定例会			米山勝規	嶋田充	原野誠	仁木良市	原田定範	境佐余子	林教子	向井幹雄	神島利明	小西十四一	境欣吾	山本篤史	有若隆	川辺一彦	島崎清孝	今藤久之
番号	議案等の名称	審議結果																
【市長提出議案等】	○・・・賛成　●・・・反対　欠・・・欠席　議・・・議長（議長は採決に加わりません。）																	
議案第67号	令和８年度砺波市一般会計補正予算（第４号） 歳入歳出それぞれ 173,276 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 25,209,489 千円とする	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第68号	砺波市立学校施設の使用料に関する条例の制定について 「公の施設の使用料及び利用料金の適正化に関する基本方針」に基づき新たに定めるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	○	○	○
議案第69号	使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 「公の施設の使用料及び利用料金の適正化に関する基本方針」に基づき見直すもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	○	○	○
議案第70号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第71号	砺波市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について 社会保険診療報酬支払基金法の一部が改正され、法人の名称が「社会保険診療報酬支払基金」から「医療情報基盤診療報酬審査支払機構」に改正のもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第72号	砺波市斎場条例の一部改正について 犬・猫等のペット火葬炉使用料について見直し改正するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第73号	砺波市景観まちづくり条例の一部改正について 景観法の一部が改正され、同法に号のズレが生じたことから改正するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第74号	令和７年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第75号	令和７年度砺波市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第76号	令和７年度砺波市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第77号	財産の取得について（砺波市新庁舎用地） 富山県有財産を取得するため、富山県と売買仮契約を締結するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第１号	令和７年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第２号	令和７年度砺波市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第３号	令和７年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第４号	令和７年度砺波市霊苑事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第５号	令和７年度砺波市工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第６号	令和７年度砺波市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第７号	令和７年度砺波市工業用水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第８号	令和７年度砺波市下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
認定第９号	令和７年度砺波市病院事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第78号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて （紫藤　哲也 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
議案第79号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて （丹羽　範夫 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
【請願、陳情等】	○・・・賛成　●・・・反対　欠・・・欠席　議・・・議長（議長は採決に加わりません。）																	
受理番号６	国が主食の価格と需給に責任をもち、国民への安定供給を支えるに十分な備蓄水準への早期回復と米価下落阻止を求める意見書提出に関する請願書（賛否は「不採択」とする委員長の報告に対するもの）	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	○	○	○
【議員提出議案】	○・・・賛成　●・・・反対　欠・・・欠席　議・・・議長（議長は採決に加わりません。）																	
議案第３号	米の安定供給と持続可能な米生産の実現を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

討論

討論は、表決の前に議題になっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。

議案第 68 号　砺波市立学校施設の使用料に関する条例の制定について

反対　境　欣吾 議員	**賛成**　島崎　清孝 議員
来年４月より学校施設において新たに使用料を設けるのは、物価高騰に苦しむ市民によりそうものではない。これまでの維持管理の努力を継続すべき。	公平な受益者負担と公費負担のあり方、施設の持続可能な運営、改定後の利用状況等の検証と見直しの必要性を踏まえ、本条例案に賛成する。

議案第 69 号　使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

反対　境　欣吾 議員	**賛成**　島崎　清孝 議員
来年４月より一斉に公共施設の使用料等を引き上げるのは、物価高騰に苦しむ市民によりそうものではない。これまでの維持管理の努力を継続すべき。	公平な受益者負担と公費負担のあり方、施設の持続可能な運営、改定後の利用状況等の検証と見直しの必要性を踏まえ、本条例案に賛成する。

となみ市議会だより 第46号 令和8年10月26日

議会トピックス

8/6 砺波市議会・南砺市議会議員研修会

東海北陸道４車線化事業ＰＲ館 にて城端・袴腰工区の拡幅工事について現地視察を行いました。



「ワイナリー ドメーヌ・ボー」工場・農場

保水性に優れた立野原の粘土質土壌と、医王山からの吹きおろしの風がぶどうの病気を低減させる恵まれた自然環境を生かした栽培から加工に至るまでの工程について説明を受けました。



9/27 総合防災災訓練

９月27日、市の防災デー・総合防災訓練を視察しました。併せて議員の安否確認訓練をスマートフォンのアプリを活用して行いました。

9/28 議員研修会「AIの基礎知識と活用」を実施

研修を通じて、AIはすべてを任せる存在ではなく、「下書き担当」として対話し、最終判断や責任を持つのは「人（編集者）」であるという基本原則を再確認しました。

また、一つの政策に対し「反対意見や懸念点」を抽出させる思考の壁打ち相手としての活用や、膨大な行政資料から課題や論点を整理し、必ず原文（根拠）と照合する手法など、議会活動の質を高める多くの気づきを得ました。

情報セキュリティとルールを厳守した上で、市民の皆さんへの分かりやすい発信と深みのある政策提言に役立ていきます。



令和8年度 砺波市議会 議会報告会「議会と語ろう明日のとなみ」を開催します

砺波市議会では、10月19日（月）の庄下自治振興会を皮切りに、市内各地区を回ります。今年度のテーマは「10年後の砺波市に向けて」です。

詳しい日程はこちらからご確認ください。

▲詳しい日程はこちらから



昨年の議会報告会開催時の模様

ご意見・ご感想を募集しています。

ご意見はこちらから▶

マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)が発行日の朝から読めるアプリのインストールはこちらから▶▶▶

発行／砺波市議会　編集／議会広報特別委員会
〒939-1398 富山県砺波市栄町７番３号（☎0763-33-1139）

この広報誌は、環境保護のため植物油インクを使用しています。
VEGETABLE OIL INK

印刷所／株式会社チューエツ